

## 今週

1. 今日ミサ後 14:00～当教会において中ブロック協議会があります。
2. 7月3日(日) 教会評議会を行います。

## 各委員会・係からのお知らせ

### 1. 教会評議会より・

7月4日(月)～7月9日(土)まで安神父様は不在です。この間、何かありましたら評議会まで連絡ください。なお、教会は9:00～16:00の間毎日開いています。

### 2. 社会活動委員会より・

①9日(木)は、鈴蘭台の炊き出し担当日でした。配給数85名に対し、14名の皆さんにご支援をいただきました。また、募金並びにお米の寄贈にも厚く感謝いたします。これからも祈りとともにご協力をよろしくお願い申し上げます。

②「口と足で描く芸術家協会」からの暑中絵はがき等のご案内を聖堂入口付近に掲示しております。この団体は、世界の両手が使えない人々が、口や足で絵を描くことにより、障害者の学習と自立をめざすことを目的として設立され、収益金は障害者の社会復帰のために使われます。7月10日(日)までの受付とさせていただきますので、ぜひ一度ご覧になってください。備え付けの申込用紙に、お名前、電話番号とご希望の品番に数量を書き入れ、申し込み袋にお入れ下さい。なお、代金は、お届け時に頂戴いたしますので、よろしくお願いいたします。

#### ③「ウクライナ危機人道支援」緊急募金について

6月5日11,500円、12日7,500円の合計19,000円をカリタスジャパンに送金いたしました。ご協力ありがとうございました。月の第一・第二日曜日に募金箱を設置します。これからも継続して皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

### 3. レジオ・マリエより・

「カトリック新聞」定期購読のご案内

2022年7月から12月までの半年分の購読申し込みを受け付けています。国内外のカトリック関連の情報や、心を豊かにしてくれる記事が掲載されています。購読を希望される方は購読料4700円を添えて係までお申し込みください。申し込み期限は7月17日(日)です。よろしくお願いいたします。

### 4. その他・

#### ① ミサ参加にあたってのお願い

- (a) 体調不良の場合は、ミサへの参加を自粛してください。
- (b) ミサ参加時は、マスクを着用してください。
- (c) 入館時にはアルコールでの手指消毒をお願いします。
- (d) 今後もコロナ感染症対策のため、ミサ中上部窓開放、下部窓より排気など換気を十分に行います。気温が低い時もありますので、各自自主的に対策をし、体調管理に十分ご留意ください。

② 7月主日ミサ参加班分け・司式司祭

主 日 等	参加班	司 式 司 祭
7月3日(日)	B班	安 旻祐神父
7月10日(日)	A&C班	安 旻祐神父
7月17日(日)	B班	安 旻祐神父
7月24日(日)	A&C班	安 旻祐神父
7月31日(日)	A&C班	安 旻祐神父

A&C班 = 鈴蘭台地区&西神、三木、小野地区

B班 = 北鈴蘭台地区より北神地区

教区の皆様

大司教 前田万葉

今年の聖ペトロ使徒座献金について

† 主の平和

教会は、ご存じのように、生きている秘跡です。つまり、御子イエス・キリストの救いの御業を受け継いでいるため、聖霊の御働きにより、生き生きと世の中で光と塩（マタイ5：13-14）の役割を果たしていくわけです。そして、この教会は初代教会から保たれてきた遺産を通して、言い換えると、使徒達による信仰が今も典礼の本質的な部分を成して、私たちの教会の偉大な伝統と伝承にあずかっていることを思い出させてくれます。

聖ペトロと聖パウロ、このお二人において、教会を論じることはできないのです。何故なら、教会の頭で、その上に教会を立てる（同16：18）と仰せつかった聖ペトロ、彼はイエス様のお召しによって（同4：19）人間をとる漁師になり、恐れず救いのみ言葉を力強く述べ伝え、伝承によると、十字架に逆さまにはりつけられて殉教しました。

聖パウロの場合も、大変ドラマチックですが、イエスの弟子たちを捕らえるためにダマスコに向かっている時に、乗っていた馬から落ち、目が見えない状態でダマスコに入っていくわけです（使徒言行録9：1-19参照）。パウロの回心と呼ばれる場面ですが、考えてみると、彼が最初に目指していたダマスコと違う意味でダマスコに入るのです。つまり、自分が描いていたことができず、神様によって打たれては倒れ、そして、神様の働き手になっていくように用意されていたダマスコに着いたのです。もちろん、この聖パウロの死のことも知られています。首を切られ、その首が三回転がり飛んで、首が触れた3つの地点から泉が湧き出たと伝えられており、見事にも、彼の一生を捧げた伝道を物語ってくれます。泉は、命を象徴していて、彼の死が決して終わりではなく、新しい命への促し・きっかけとなることを表すのです。今、私たちが、教会の中で、教会を通して頂いている恵みは、まさに、彼らの血によって生まれたもので、使徒座、そして、使徒座を中心とした教会の広がりやを改めて思い出させてくれるでしょう。伝えられたみ言葉、それに耳を傾けること、また世界にみ言葉を響かせること、その大事な役割を念におきましょう。

今年は6月26日（日）が、聖ペトロ使徒座への献金の日です。この日の意味を考えていただければ幸いです。昨年頂きました、皆様からの献金1,843,010円に関しまして心より感謝申し上げます。

祈りと感謝のうちに

本日の堂内献金はこのために捧げられますので、よろしく願いいたします。